



LIBERAL DEMOCRATIC PARTY KATSUSHIKA CITY ASSEMBLY

自由民主党

会報

令和4年
2022
初夏号

発行 / 葛飾区議会自由民主党議員団

発行責任者 / 秋家聡明 ※ご意見・ご要望をお待ちしております



葛飾区議会 自由民主党議員団

検索



去る 令和4年3月30日に「令和4年度第1回定例会」が終了致しました。今回は令和4年度の予算審査を含め43日間の開催でありました。令和4年度一般会計予算は2,120億円と過去最大規模のスキームとなっております。未だ新型コロナウイルスの感染者も高止まりをしており、予断を許さない状況にありますが、区民の皆様の健康を第一に考えながら、安全・安心で賑いのある街づくりを区長とともに進めて参ります。

下記に数ある事業の中からそれぞれの議員が最も注目する事業を挙げておりますので、ご期待下さい。

自由民主党議員団 幹事長 秋家聡明



令和4年度予算 最も注目する事業について



工藤 きくじ

健康寿命を延ばすため「病気の早期発見、健康診査の対象」を76歳、81歳も加え、高齢者の保健事業に5億2,300万円計上した。



池田 ひさよし

子育て支援の拠点となるプラザの整備を進めます。更に旧小谷野小学校内に全世代が集い活動できる拠点整備を提案・実現させます。



秋家 聡明

川甚の跡地活用を地域住民や商店街の方との意見を踏まえながら進め、区外へ誇れる観光拠点をつくって参ります。



秋本 とよえ

女性活躍支援、子宮頸がん、乳がん検査を無料化にし、がん対策の総合的な推進、又、受診率アップ、又、多胎児家庭支援拡大。



筒井 たかひさ

亀有地域観光拠点施設建設経費：永年の課題であった亀有の観光拠点が決まったことで回遊型観光施策の更なる前進に期待します。



峯岸 良至

「堀切地区の街づくり」に注目しています。京成本線荒川橋梁架替事業と連携した街づくりや東京都と連携した歩行環境改善を進めます。



伊藤 よしのり

金町駅周辺のまちづくりについて、理科大学通り及びしょうぶ通りの道路拡幅と北口駅前広場の早期整備を推進致します。



高木 信明

災害医療体制の強化に関して、長びく避難所生活での体調管理の為に、リハビリや健康維持が担保できるシステム作りを要望します。



梅沢 とよかず

「持続可能な葛飾」を実現するために「葛飾区SDGs推進計画」を策定していきます。またデジタル技術を活用した取組の推進をします。



大森 ゆきこ

『フォトスクリーナーを用いた視力検査』に注目。弱視治療のタイムリミットはあまり知られておらず、早期発見・治療が重要です。



安西 まさのぶ

東金町一丁目西地区再開発事業を通して、新たな街づくりの実現の為、エリアマネジメントを強く推進して参ります。



齊藤 大介

「新金貨物線の旅客化」南北方向の鉄道網の充実や区全体の活性化の為、令和12年の開通を目指した着実な取組みに注目していきます。

▶ 令和3年 第4回定例会 ◀



安西まさのぶ

〈一般質問〉

- (1) 今後の区政について
- (2) 健康寿命の延伸について
- (3) 教育ICTの推進について
- (4) ゼロミッションかつしかについて
- (5) 金町のまちづくりについて



池田ひさよし

〈一般質問〉

- (1) 今後の区政運営・計画的な財政運営の必要性について
- (2) 小菅・堀切地域のまちづくり 子ども未来プラザ小菅についてと堀切地域全体のまちづくりビジョンの策定について

▶ 令和4年 第1回定例会 ◀

自由民主党議員団
秋家聡明

〈代表質問〉

- (1) 令和4年度当初予算及び今後の財政運営について
- (2) 保健所におけるコロナ対策について
- (3) SDGsにおける区民との協働について
- (4) 新金線旅客化の検討について
- (5) アフターコロナを見据えた区内観光への取組について



秋本とよえ

〈一般質問〉

- (1) 女性の活躍支援について
- (2) 子育て支援について
- (3) 喫煙対策について
- (4) 亀有地域のまちづくりについて



大森ゆきこ

〈一般質問〉

- (1) 四ツ木駅周辺の都市基盤整備について
- (2) 宝木塚小学校の改築について
- (3) 発達障害や生きづらさを抱える方々への支援について
- (4) 小学校について



梅沢とよかず

〈予算総括質疑〉

- (1) 令和4年度当初予算案について
- (2) 住み続けたいまちづくりについて
- (3) 区内産業の活性化について
- (4) デジタル推進の取組について
- (5) 学校教育について
- (6) 子どもの健康と権利について
- (7) 河川・公園のオープン化について
- (8) 立石のまちづくりについて

▶ ウクライナ決議 ◀

ロシアのウクライナ侵攻に対し葛飾区議会は全会一致で決議に至りました。

ロシア連邦によるウクライナ侵攻の中止を求める決議

ロシア連邦のプーチン政権によるウクライナへの侵攻は、国際社会の平和と安全を著しく損ない、国際秩序の根幹を揺るがす暴挙である。さらに、国際社会が核兵器のない世界の実現へと進む中、核兵器の使用を示唆する行為は、核軍縮の機運を後退させるものであると言わざるを得ない。

これらの行為は、非核平和都市として、広島・長崎の惨禍を再び繰り返すことがないように核兵器の根絶と世界の恒久平和を願う46万人の区民の心を踏みにじるものであり、断じて容認することはできない。

よって、葛飾区議会は、ロシア連邦に対し、ウクライナへの侵攻、軍事行為を直ちに中止することを強く求めるものである。

以上、決議する。

令和4年3月1日

葛飾区議会



—— ウクライナとともに ——

より良い葛飾を目指して

自由民主党

お気軽にご意見をお寄せください!

<http://jimin-katsushika.com>

令和4年第1回定例区議会・予算審査が行われました

第一回定例区議会日程

令和4年2月16日から3月30日の43日間の会期で令和4年第1回葛飾区議会定例会が開催され、予算案8件、条例案22件、契約案5件、その他案3件、議員提出議案6件、請願5件についての審議が行われました。

2月16日の区長発言、付議事件案の説明、予算審査特別委員会の設置に始まり、各常任委員会での議案審査後、2月25、26日の2日間で代表質問、一般質問、質問後に中間本会議で採決すべき7件、すべてが賛成多数で可決しました。3月4日～10日の予算審査特別委員会、令和4年度の予算を審査し、3月14日に予算の委員会採決、15日～22日に4常任委員会で議案の審議、23日～25日に3特別委員会、そして3月30日に採決のため最終本会議が開催され、43日間の第1回定例区議会が閉会しました。

令和4年度予算は区民の皆さんから預かった貴重な限りある財源が、前期実施計画に掲げる事業や重点事業を中心に、効果的・効率的に配分されており、区民の負託に応える予算編成であると認識し7件の予算案に賛成いたしました。



代表質問



秋家 聡明

安定した財政運営により、新基本計画に掲げた施策の推進を

◆令和4年度当初予算及び今後の財政運営について

問 前期実施計画で位置付けをした計画事業などを推進するため、経費の増大が見込まれる中、今後の財政運営の見通しと考え方を伺う。

答 景気は当初想定していたよりも早い時点での回復も予想されており、特別区交付金や、その他税収などの一般財源は、明るい兆しを見せ始めている。しかし、海外での金融緩和縮小の動きや紛争問題などを起因とする経済の先行きは楽観視できない状況にある。このような状況においても、前期実施計画に掲げた取り組みを着実に推進し、区民サービスをさらに向上させていくために、優先すべきもの、変えていくべきものを十分に見極めたうえで、経営改革の取り組みを不断に推し進めていく。さらに、基金の積み増しなどで財政基盤の強化を図り、持続可能で適切な基金の活用などにより、社会経済状況の変化にも迅速、柔軟に対応できる安定的な財政運営を行い、区民が安心・安全に快適に暮らせる地域社会の構築に努める。

※他の質問項目
財政調整基金の目的と活用の考え方 など

◆保健所におけるコロナ対策について

問 第6波に対する保健所の業務体制について、これまでとはどのような点を変えて臨んでいるのか、これまでの経験・知識を生かして臨んでいる点は何か。また、現在課題となっていることはあるのか伺う。

答 感染者数に合わせたフェーズごとに保健所の体制を構築し、保健所職員が他部の応援職員を指導できるようリーダーとして養成し、効率的かつ効果的に業務を行うことができるようにした。また、図書館および郷土と天文の博物館業務の一部を休止することで継続して応援職員を配置し、より習熟して感染症業務を進めることができている。さらに、重症化リスクの低い方にはショートメールによる情報提供とアンケートフォームの活用など、デジタル技術を活用することで、重症化リスクの高い方に重点化して業務にあたってきた。また、自宅療養者の健康観察を協力医療機関でも行えるようになり、業務の軽減につながった。一方で、高齢者施設のクラスター対策が課題であるため、医療機関と区医師会、保健所が連携して施設内で適切な医療が提供できるよう早急に検討する。

※他の質問項目

保健師の人材育成強化の取り組み など

◆SDGsにおける区民との協働について

問 SDGs 推進に向けた新たな計画の策定に当たっては、区民や事業者自治町会等のさまざまな方々との連携・協働を促進し、理解を深めていただくながら、葛飾らしいSDGsを展開していく必要があると考えますが、区長の見解を伺う。

答 次なるSDGsのステップとして、本区がさらに優先的かつ重点的に取り組む課題を明確にし、その解決方法を示していく。また、SDGsの各ゴールの達成に向けた具体的な取り組みについても検討し、区民、事業者、団体等の多様な皆さまと共に、葛飾の未来を見据えた、持続的で大きな行動へとつなげ、オール葛飾でSDGsの実現に向けて取り組む。

※他の質問項目 団体活動継続の工夫

◆新金線旅客化の検討について

問 旅客化に向けた検討会の設置を含む予算として、2千800万円が計上されているが、検討会の構成、スケジュール、議題の予定などを伺う。

答 早期旅客化を実現させるため、各関係機関で構成する検討会を4月中に発足させるよう調整を進めている。検討会の委員は、学識経験者、JR東日本、JR貨物、京成電鉄を考慮しており、行政機関等はオブザーバーとしての参加を要請している。検討内容は、運行主体の明確化や事業運営の方法、国道6号との交差方法などで、作業部会を設置し、車両選定や駅位置、車両基地などの具体的な検討を行い、国道以南である(仮称)新宿駅から新小岩駅間で令和12年頃の開業を目指していく。

※他の質問項目 旅客化と合わせた沿線の街づくりの検討 など



写真:「区議会だより」より

新金貨物線 (高砂橋付近)

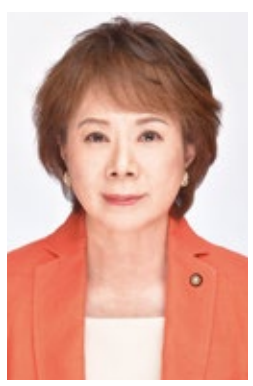
◆アフターコロナを見据えた区内観光への取組について

問 SDGsの観点から持続可能な観光を推進することがより一層求められてくると思うが、区の見解を伺う。

答 地域との協働を推進し、住んでよし、訪れてよしの地域住民と観光客の双方にとってより良い街をつくるという好循環を起し、地域活性化や観光の持続的発展に貢献していく。

※他の質問項目 亀有地域観光拠点施設の整備 など

一般質問



秋本とよえ

◆子育てするなら葛飾で」の実現に一層注力

◆子育て支援について

問 (仮称) 子ども未来プラザ白鳥の整備に当たっては、地域の方でも活用できる施設にしたい。いただきたいと思うが、区の見解を伺う。

答 白鳥児童館では地元の自治町会と協働し、隣接する白鳥北公園と一体で白鳥子どもまつりを行うなど、以前から施設が地元の方に親しまれてきた経緯がある。こうした背景を子ども未来プラザの整備における地域特性として捉え、地域の方にも喜んでいただける施設となるよう検討する。

※他の質問項目 フォトスクリーナーの導入 など

◆喫煙対策について

問 亀有駅南口の指定喫煙場所について、早急にコンテナ型喫煙所への変更を検討していただきたいと思うが、区の見解を伺う。

答 亀有駅南口の指定喫煙場所は、駅やバス停に近いため通行人が多く、たばこの臭いや煙について、たくさんの方の意見をいただいております。さまざまな対応をしてきたが、抜本的な解決には至っていない。整備上の支障がないかなど諸条件を確認する必要があるが、迷惑・危険行為の防止や受動喫煙防止の観点から有効な解決策の一つとして積極的に検討していく。

※他の質問項目 亀有駅北口の指定喫煙所設置場所の検討 など

◆亀有地域のまちづくりについて

問 リリオ亀有図書サービスカウンターへのブックポストの設置について、区の見解を伺う。

答 カウンターが閉まっている間に格子状シャッターの内側に本が置かれることは課題と認識している。受託事業者およびビル管理会社との協議を行い、早期の設置に向け取り組む。

※他の質問項目 亀有駅北口の将来的な検討 など



図書返却ポスト (ブックポスト)

他の質問件名 女性の活躍支援

一般質問



大森ゆきこ

◆都市基盤整備による防災性向上と交通の円滑化、地域交流の促進

◆四ツ木駅周辺の都市基盤整備について

問 駅前地域の方の憩いの場としての空間づくりが必要だと思いが、駅前交通広場と四ツ木バ

入通りへ向かうアクセス道路の今後の設計や整備スケジュールについて伺う。

答 駅利用者の安全性や利便性を高めるため、用地買収を鋭意進めるとともに、約2千6002mの駅前交通広場の整備と幅員16mのアクセス道路の整備を計画している。憩いの場としては、ベンチの配置や街路樹の緑陰などを検討する。今後は、令和4年度中に都市計画道路事業の認可を予定しており、その後、用地取得の進捗状況を見ながら整備を進める。

◆宝木塚小学校の改築について

問 地域の方々の強い要望として校庭を広くとの声があるが、改築懇談会でのさまざまな意見をどのように改築につなげて実現していくのか伺う。

答 校庭は、施設の重層化、集約化を行うことで、現状よりも約2千2mの拡大を図る。また、防災機能の拡充について、体育館の2階配置や非常用発電機の設置、施設のバリアフリー化などを計画している。引き続き、改築懇談会で意見交換しながら、地域が誇れる新しい学校づくりを行う。

※他の質問項目

工事期間中の教育環境の確保 など

他の質問件名 発達障害や生きづらさを抱える方々への支援・小学校について

あらゆる有事に備えた持続可能な葛飾区の実現を

予算審査特別委員会 令和4年度予算を審査

2月16日の本会議において、令和4年度各会計予算案5件を審査するために、予算審査特別委員会が設置されました。予算案は、3月4日の総括質疑の後、各分科会で審査を行い、その後、予算審査特別委員会において各会計予算の採決を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定し、3月30日の本会議において可決されました。

区民一人当たりの予算額(一般会計)

●災害対策や地域活動、文化振興などに	43,034 円
●清掃事業や環境対策に	16,348 円
●高齢社会、健康づくり等、福祉と衛生に	196,345 円
●中小企業に対する融資など産業経済に	10,397 円
●道路・公園整備やまちづくりに	37,008 円
●生涯学習の支援や小中学校の運営などに	56,942 円
●常勤職員の給料等に	54,785 円
●特別区債の償還などに	2,513 円
●国民健康保険・介護保険事業などの繰出しに	39,505 円
合計	456,788 円

※人口は462,083人(令和4年1月1日現在)から算出し、合計には、予備費等が含まれていません。

予算審査特別委員会での自民党からの要望

総務費

総合防災訓練や水害避難ガイド、一時避難場所看板の多言語化など区民に分かり易い防災啓発を求める。町の落書きを除去支援の検討を望む。SDGs推進計画は、オール葛飾で協働し、実現に向けた取組みを望む。

配偶者暴力防止事業では、DV被害と同居家族の安全面に配慮を求める。

産業経済費

アフターコロナを据え、「こち亀」などのキャラクター活用や寅さん記念館リニューアル、葛飾特有のコンテンツを充実した観光推進を望む。都市型スマート農業の実証実験を東京理科大と連携し、高齢化や担い手不足の解消を望む。水元公園を活用した農業公園整備を東京都に働きかけ、区民の都市農業への理解促進及び特定生産緑地の保全を要望する。

福祉費

福祉施設におけるBCP策定の遅れを踏まえ、災害に備えた各施設への継続的な支援と早期予算計上を要望する。包括的な支援体制の整備として、参加支援事業の推進と地域づくりに向けた支援の充実を求める。

児童福祉費

保育園での読み聞かせを重視し、園が所有する絵本の貸出など学びの機会を増やし、保育の質を高めるよう要望する。また、私立幼稚園の教諭人材を確保すべく、宿舍借上費助成や住宅手当補助などによる安定的な運営の支援を要望する。自殺未遂者へのメンタルケアについて、心に寄り添った支援事業の拡大を要望する。

公衆衛生費

災害時に混乱が生じぬよう、区内の特定動物の情報管理や飼い主への責任の周知を工夫し、動物救護体制の整備を要望する。

環境費

ゼロカーボンシティ実現に向け、行政・区民・事業者と協議した強化策を期待する。ゴーヤ以外にもパッションフルーツを配布するなど、今までと違った緑のカーテン普及啓発を望む。フラワーメリーゴーランドを今後も積極的にPR・拡大を望む。

清掃費

国・都・他自治体と連携を図り、環境先進区として着実なりサイクル事業への取組みを望む。

都市整備費

新金線の旅客化に向け、2030年開通を目指し、必要な予算組みや詳細な議会報告など、実現に向けた取組みを要望する。水元から金町を経由し、新金線仮称新宿駅までを繋ぐバス交通などの検討を望む。四つ木地区の密集住宅市街地整備促進事業に係る公園整備は、公園課と他課による綿密な連携を要望する。

教育総務費

小中学校の段階から切れ目なく運動する機会を設け、運動離れを抑制し、体力向上への取組み拡充を要望する。タブレットを活かしたオンライン社会科見学は、先進的な取組みであり、それを活用し、各学校の特色ある学校づくり支援を望む。選挙権、成年年齢の引下げに伴い、学校図書館へ新聞配備し、早い段階から社会への関心を持つ教材としての活用を要望する。

小学校費

区立学校教員の働き方改革の目標である原則1カ月超過勤務45時間、年次休暇取得日数10日未満をゼロにする取組み指導を要望する。

社会体育費

かねてからの要望である「かつしかふれあいRUNフェスタ」の早期公道開催を強く望む。